

新入会員の紹介

非開削式地下水位低下工法

KB ドレイン工法協会

問い合わせ先：〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町1-4-9 TPR北浜ビル5階
TEL：06-6227-8668 FAX：06-4256-2475
Email：info@kb-drain.jp
http://www.kb-drain.jp/

2022年6月より一般社団法人日本非開削技術協会に入会いたしましたKBドレイン工法協会です。この度は入会の申し入れをご承認頂き誠に有難うございます。私どもKBドレイン工法協会は2017年10月に設立いたしました。当協会は非開削工法の代表として知られる推進工法を応用して、特殊集排水管を地下へ敷設することで、施工区域の地下水位低下を促し、地震発生時の液状化現象や、地滑りなどの土砂災害への耐性を備えた地盤へと改良する工法を展開しております。

世界でも有数の地震大国である日本では、その被害を最小限に抑える為の様々な対策や取り組みがなされております。1964年の新潟地震以降、地震被害として大きな注目を集めている液状化現象は、建物や道路などの地上構造物のみならず、ガス管や上下水道管などの地下ライフラインにも大きな被害を広範囲にもたらします。令和2年12月11日に閣議決定された「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」でも対策が喫緊の課題として示されており、早急な対応が求められております。この液状化現象を防止する対策として、地下水位低下工法が近年注目されています。特に

都市部や住宅地域ではその被害規模が大きくなることから、官民境界を越えた道路・宅地一体型の対策となりますが、従来の方式では対象地盤を開削したり、長期間の官地占有が必要な方式に限定されておりました。

このような問題点を解決するべく、当協会は推進工法技術を用いて安全・確実に特殊集排水管を敷設する工法を開発してまいりました。

当工法独自の施工方式は幅広い土質に対応でき、長距離施工や工期短縮を可能にすることで、推進工法の利点を最大限に活かした施工設計となっております。

特殊集排水管による地下水位低下工法は、液状化現象だけでなく大雨による地すべりや土砂災害、更には土壌汚染への対策としても注目されております。

様々な自然災害への対策として期待できる新工法を更に発展させるべく、今後も様々な課題を乗り越えて推進技術の新たな可能性を広げて参ります。

設立からまだ数年の協会ではございますが、今後ともどうかよろしくお願いたします。



特殊集排水管



掘削機



地下水排出状況